

啓蒙記 (其三)

福田將夫に島木赤彦先生を教ふること 島田 忠夫

安者福島將夫は(島木赤彦) 以つて赤彦先生の詩人としての歌人など安言を吐いてゐることは、予がしばしば名を憶ふべきである。

島木赤彦先生は信州下諏訪の人である。始めは原姓を名のり、松本の師範学校時代に、雑誌「潮音」を主宰する太田水穂氏なども同級であつた。

安者福島將夫は(島木赤彦) 以つて赤彦先生の詩人としての歌人など安言を吐いてゐることは、予がしばしば名を憶ふべきである。

予が先生と「二田」で、二田に接した二田の言であるかどうかを言はずとも好い。予が今少し、世人に認められたのは、ひたすら先生のお陰である。

予が先生と「二田」で、二田に接した二田の言であるかどうかを言はずとも好い。予が今少し、世人に認められたのは、ひたすら先生のお陰である。

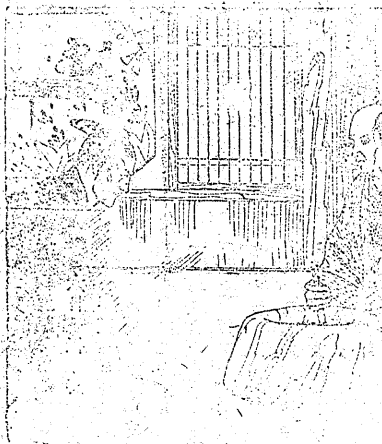
安者福島將夫は粉砕された。彼が啄木の墓へまで行って、身には何か後ぐらいことが、御座るのかな。

予が先生と「二田」で、二田に接した二田の言であるかどうかを言はずとも好い。予が今少し、世人に認められたのは、ひたすら先生のお陰である。

予が先生と「二田」で、二田に接した二田の言であるかどうかを言はずとも好い。予が今少し、世人に認められたのは、ひたすら先生のお陰である。

予が先生と「二田」で、二田に接した二田の言であるかどうかを言はずとも好い。予が今少し、世人に認められたのは、ひたすら先生のお陰である。

予が先生と「二田」で、二田に接した二田の言であるかどうかを言はずとも好い。予が今少し、世人に認められたのは、ひたすら先生のお陰である。



胃腸科 専門 院 松村 院 胃腸科 専門 院 松村 院 胃腸科 専門 院 松村 院

新着ト商品全部値下 貴金属 時計 眼鏡 音響器

片夕醬油 特約店 廣瀬支店

貸地廣告 平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります。

小名濱商事株式会社 出張所 電話 五〇三番

藤沼醫院 内科 小児科 入院 電話 五〇七番

佐藤材木店 常磐線平町新川町 電話 三三五番

大谷時計病院 平町三丁目電九 電話 三三五番

花 春 優等賞受領 山崎合名會社 電話 一〇番

山崎合名會社 電話 一〇番

木ニ胃腸藥 健胃 第一 胃腸から

